

仕様／消費電力量について

仕様

型式	R-5ZP		部品
種類	冷蔵庫		
定格内容積	冷蔵室	45L (40L)	製氷皿 …………… 1 棚 …………… 1 露受皿 …………… 1
	うち 製氷コーナー (便利機構)	〈4L〉	
外形寸法	幅480mm×奥行470mm×高さ490mm		
定格電圧	100V		
定格周波数	50 / 60Hz 共用		
電動機の定格消費電力	50Hz	67W	
	60Hz	67W	
年間消費電力量	扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。		
質量	19kg		

※〈 〉は、食品収納スペースの目安です。
※製氷コーナーは、冷蔵室に含まれます。

- 定格内容積は、日本工業規格 (JIS C 9801-3:2015) に基づき、庫内の温度制御に必要なでない庫内部品 (棚やケース等) を外した状態で算出したものです。
- 貯蔵室ごと (例えば、冷蔵室等) に、定格内容積と併せ食品収納スペース (貯蔵室ごとの実際に食品を収納することが出来る空間の容積) の目安を表示しています。
- 製氷コーナーは便利機構であり、消費電力量試験での目標温度区分は、日本工業規格 (JIS C 9801-1:2015 および 9801-3:2015) に定められています。

消費電力量について

- 年間消費電力量は、JIS C 9801-3:2015 で決められた測定方法と計算方法において得られた値を表示しております。
- 使用時の消費電力量は、設置の仕方、各庫内の温度設定、周囲温度や湿度、ドア開閉頻度、新しく入れる食品の量や温度、使い方等により変動する場合があります。
- 年間消費電力量測定方法の概要

JIS C 9801-3:2015 消費電力量測定方法			
種類	冷凍冷蔵庫		冷凍庫
	「スリースター」「フォースター」機種		冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷凍室
	-18℃以下	4℃以下	-18℃以下
周囲温度	32℃及び16℃		
周囲湿度	32℃測定時: 70±5%		
	16℃測定時: 55±5%		
消費電力量の表示	年間消費電力量 (kWh/年) (周囲温度32℃測定による1日当りの消費電力量205日分と周囲温度16℃測定による1日当りの消費電力量160日分の合計)		

愛情点検



●長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感ずる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います

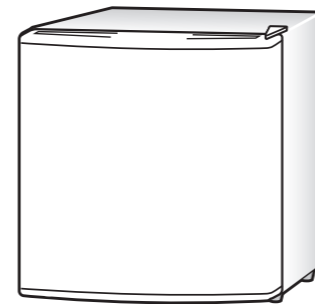
家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫または冷凍庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金 (リサイクル料金) をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年 月 日	型式	
購入店名	電話 ()		

取扱説明書



型式 R-5ZP

HITACHI
Inspire the Next

日立冷蔵庫

家庭用

もくじ

2	安全のため 安全上のご注意	安全のため
5	使いはじめ 設置のしかた	使いはじめ
5	移動・運搬するとき	
6	食品の貯蔵場所	
7	使いはじめ	
7	ご使用方法 温度調節	ご使用方法
8	霜取りのしかた	
8	お手入れ お手入れのしかた	お手入れ
9	ご注意と点検 お困りのときは	ご注意と点検
10	こんなときには…	
11	保証とアフターサービス/ お客様ご相談窓口	
12	仕様／消費電力量について	

このたびは日立冷蔵庫をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この冷蔵庫は**家庭用**です。業務用や食品収納以外の目的にはご使用にならないでください。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→ P.2~4 をお読みいただき、正しくお使いください。

ご購入後、初めてお使いになるときは、冷えるまでに時間がかかります。

庫内が冷えるまでに、約4時間から24時間以上かかることがあります。

収納できる食品の高さを守り、食品はすき間をあけて収納してください。

食品を無理に詰めると、食品や袋がはさまり、半ドアになり、冷えが悪くなったり、氷ができなくなる原因になります。 → P.7

保証書別添付

日本国内家庭用
Use only in Japan



安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

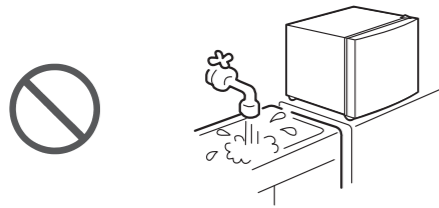
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

		絵表示の例	
 警告	「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。	
 注意	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。	
		 実行していただく「指示」内容のものです。	

警告

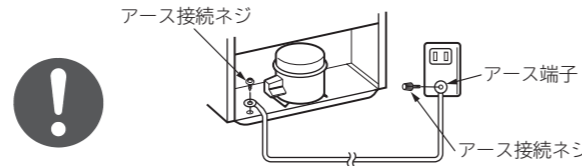
設置するとき

■水のかかるところには設置しない。



絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

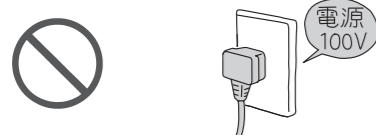
■湿気が多い場所・水気のある場所に設置するときはアース(接地)・漏電遮断器を取り付ける



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。(P.5 ページ)

電源や電源プラグ・コードは

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火の原因になります。

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- タコ足配線、延長コードは使用しないでください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷蔵庫で押しつけたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

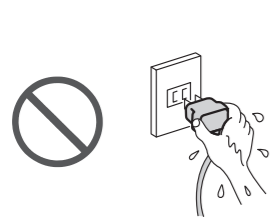
■電源プラグのほこりは定期的に取り取る



電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



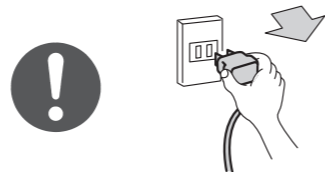
感電の原因になります。

■電源プラグはコードが下向きになるようにし根元まで確実に差し込む



逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

■冷蔵庫のお手入れの際は必ず電源プラグを抜く



感電やけがをすることがあります。(P.8 ページ)

- 必ずプラグを持って抜いてください。

警告

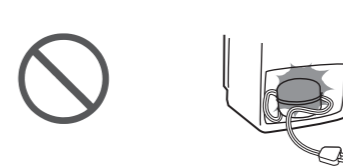
ふだんご使用のとき

■冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない



こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の原因になります。

■電源コードは冷蔵庫背面の機械部内に配線させない



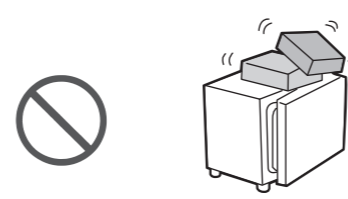
電源コードの傷付き・加熱・火災の原因になります。

■薬品や学術試料を保存しない



厳しい管理の必要なものは、家庭用冷蔵庫で保存できません。

■冷蔵庫の上にもものを置かない



ドアの開閉などで落下し、けがをすることがあります。

■可燃性スプレーを近くで使わない



ドアスイッチなどの電気接点の火花で引火する危険があります。

■本体や庫内に水をかけない



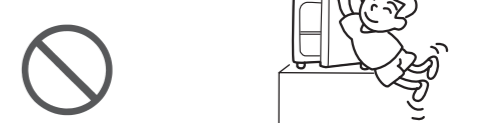
電気絶縁が低下し、感電・火災の原因になります。

■引火しやすいものは入れない



ベンジン・エーテル・LPガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■ドアにぶら下がったり乗ったりしない



倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

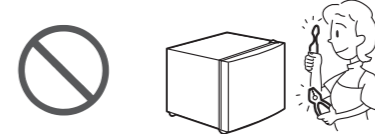
もしものとき

■製品の異常や故障のときは電源プラグを抜き運転を中止する



感電やけがをすることがあります。

■分解・修理・改造は絶対に行わない



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷蔵庫に触れず窓を開けて換気する



ドアスイッチなどの、電気接点の火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

廃棄するとき

■リサイクルのときなど保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合はドアパッキングをはずす

幼児が閉じ込められると危険です。(ドアパッキングは引っ張るとはずれます)

■廃棄するときは販売店や市町村に引き渡す



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

ふだんご使用のとき

■電源に外部で入切するスイッチは使用しない



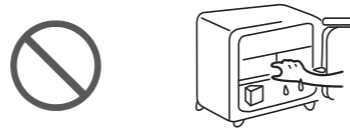
冷凍機の故障の原因になります。

■製氷コーナーにビン類を入れない



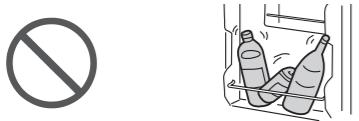
中身が凍って割れ、けがをするおそれがあります。

■製氷コーナー内の食品や容器(とくに金属製のもの)にはぬれた手で触れない



凍傷になるおそれがあります。

■ドアの小物ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない



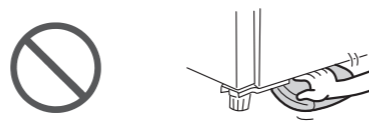
ドア開閉時に落下し、けがをすることがあります。

■食品は棚より前に出さない



ビン類などが引っ掛けて落下し、けがをすることがあります。

■冷蔵庫底面に手を入れない



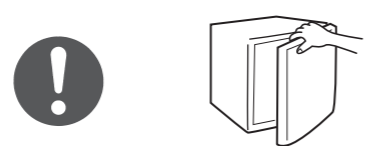
清掃するとき、底面に手を入れると鉄板で手を切ることがあります。

■におったり変色した食品は食べない



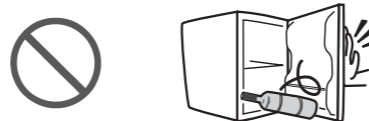
腐敗により、病気の原因になることがあります。

■ドアの上面を持ってドアの開閉をしない



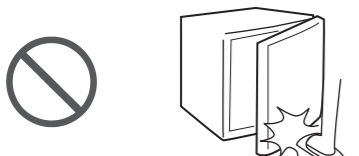
指をはさみ、けがをすることがあります。

■ドアをいきおい良く閉めない



ドアポケットに収納したビン類が転がり落ちるおそれがあります。

■ドアを開けるときは 冷蔵庫に足を近づけすぎない



ドアを開けたとき、足の甲などに当たり、けがをするおそれがあります。

■床が丈夫で水平なところに設置する



不安定な所に設置しますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れけがの原因になります。(詳しくは [5](#) ページ)

■冷蔵庫背面の機械部に手を入れたり圧縮機に触れない



高温ですので、やけどやけがの原因になります。特に幼児が手を触れないように、設置場所や設置方向に注意してください。

移動・運搬のとき

■冷蔵庫を運搬するときは 前脚部と天面後部を持つ



ほかの部分を持つと、手がすべってけがの原因になります。
●必ず2人以上で運搬してください。

■運搬するとき ドアを開閉するときヒンジ部に手をかけない

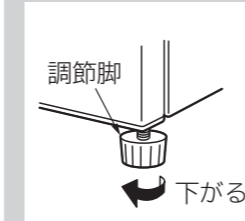


ほかの部分を持つと、手がすべってけがの原因になります。

設置のしかた

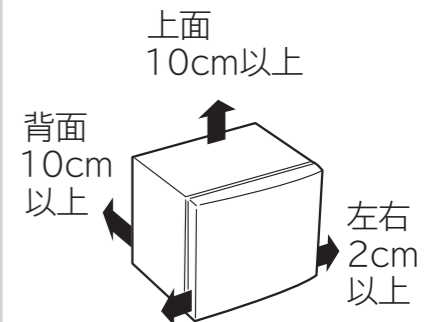
床が丈夫で水平なところに

- 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させます。不安定な設置は、騒音や振動の原因になります。
- じゅうたん・畳などの場合は、下側全面にしっかりした板を敷いてください。冷蔵庫の底の熱による床の変色も防げます。



⚠ 注意

- 床が丈夫で水平なところに設置する。不安定なところに設置しますと、ドアの開閉などで冷蔵庫が倒れ、けがの原因になります。
- 露受皿が正しく取り付けられているかを確認する。正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、床や壁などを傷める原因になります。



周囲にすき間を

- 図のようにすき間をあけてください。すき間をあけませんと、放熱が悪くなり、電気代が増えたり、壁の材質によって変色したり汚れたりします。

⚠ 警告

- 電源プラグを冷蔵庫の背面で押し付けない。電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

熱気・湿気の少ないところに

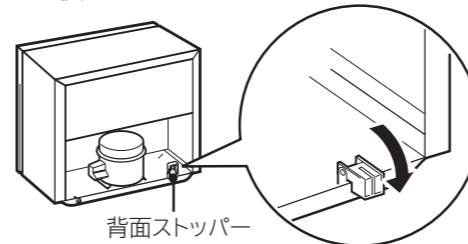
- 直射日光やガスレンジなどの熱影響を受けると、冷却力が悪くなったりします。
- ※硫化ガス噴出の温泉地区等に設置する場合は、配管の防さび処理が必要となる場合がありますので、あらかじめ販売店または TEL 0120-3121-11 にご相談ください。また、ガス害による故障は保証の対象外となります。

⚠ 警告

- 湿気の多いところや水がかかるところに設置しない。絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。

お願い

- 下図に示す部品は、圧縮機の接触防止用背面ストッパーです。冷蔵庫設置前に矢印の方向に倒してご使用ください。

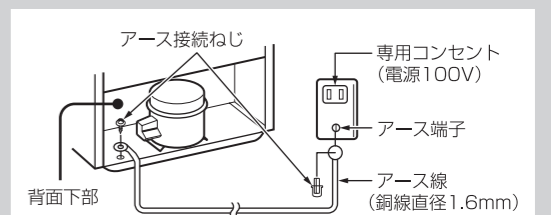


万一の感電防止のためにアースをおすすめします

- 湿気の多い場所・水気のある場所に設置するときはアース・漏電遮断器の取り付けを販売店にご相談ください。
- 別売品:「アース線(2.5m)」(部品番号 NW-60R6 052)

アース線を接続してはならないところ

- 水道管(感電の危険)
- ガス管(爆発の危険)
- 電話線や避雷針のアース(落雷のとき危険)



移動・運搬するとき

移動・運搬のまえに

- 必ず電源プラグを抜いてください。
- 食品を取り出し、露受皿の水をすててください。
- ドアが開かないように、テープでしっかり固定してください。

移動・運搬するとき

- 安全上、必ず2人以上で運搬してください。
- イラストのようにドアを上にして運搬してください。
- 運搬するときは、前脚部と天面後部を持ってください。
- 車などで運搬の際は横積みしないでください。圧縮機の故障の原因になります。
- 50 - 60Hz (ヘルツ) 共用です。

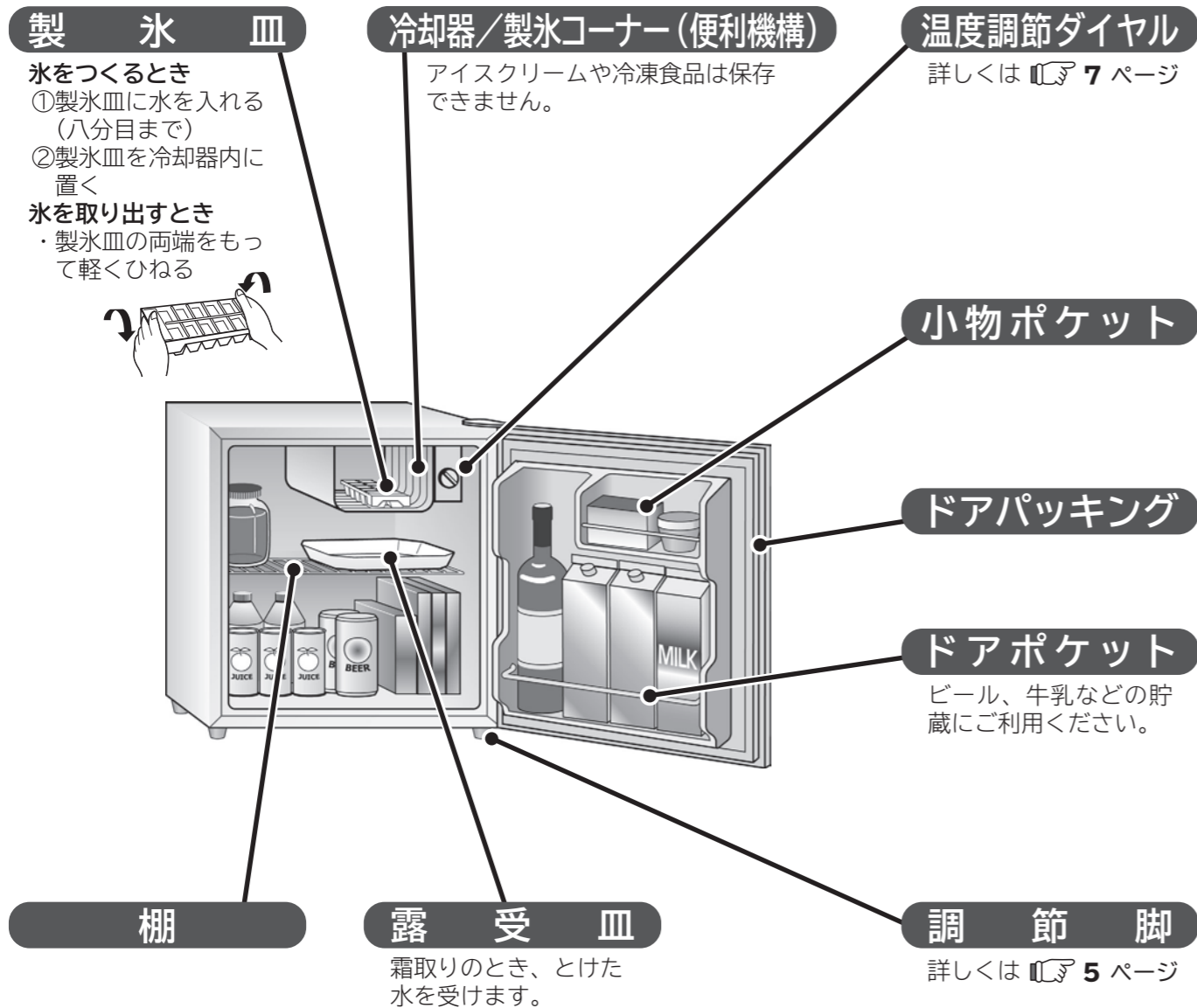
⚠ 警告

- 冷蔵庫を運搬するときは 前脚部と天面後部を持つほかの部分を持つと、手がすべってけがの原因になります。必ず2人以上で運搬してください。



食品の貯蔵場所と各部の名称

(下のイラストは貯蔵場所に適した食品配置の一例です)



製氷皿
氷をつくる時
 ①製氷皿に水を入れる
 (八分目まで)
 ②製氷皿を冷却器内に置く
氷を取り出す時
 ・製氷皿の両端をもって軽くひねる

冷却器/製氷コーナー (便利機構)
 アイスクリームや冷凍食品は保存できません。

温度調節ダイヤル
 詳しくは 7 ページ

小物ポケット

ドアパッキング

ドアポケット
 ビール、牛乳などの貯蔵にご利用ください。

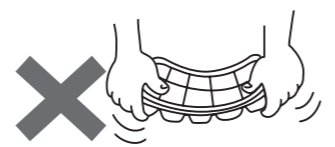
棚

露受皿
 霜取りのとき、とけた水を受けます。

調節脚
 詳しくは 5 ページ

※製品は改良のためイラストと相違することがあります。
 ※上図のように部品を配置して食品収納スペースの目安を算出しています。
 製氷皿、露受皿は取り外して算出しています。

- お願い**
- 豆腐・野菜などの水気の多い食品を製氷コーナーの真下に入れしないでください。温度が低いため、食品が凍結することがあります。
 - 製氷コーナーにビン類を入れしないでください。中身が凍って割れることがあります。
 - 製氷皿は、図のような方向に折り曲げないでください。割れることがあります。



使いはじめ

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

はじめに

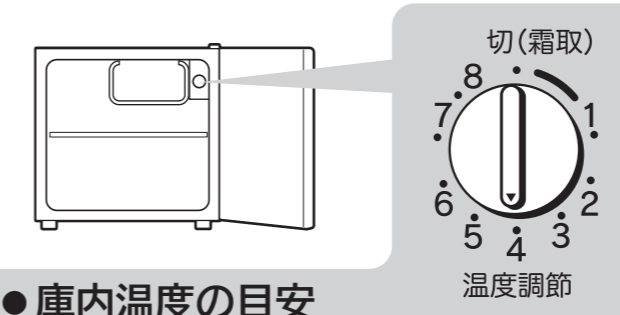
庫内が十分冷えてから食品を入れる
 冷蔵庫の周囲の温度や食品の収納状態によって庫内が十分冷えるまでに4時間から長いときには24時間以上かかることがあります。

上手な食品の入れかた

<p>食品は清潔に 食品には、意外に多くの汚れが付いています。</p>	<p>食品は冷ましてから 温かい食品を入れると、庫内の温度が上がり、電気代のムダになりますので、冷ましてから入れることをおすすめします。</p>
<p>密閉して ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。</p>	<p>新たな食品を重ねない 冷えていた食品の温度が上がります。</p>

温度調節

■ 温度調節ダイヤルは、下表を目安に調節してください。



● 庫内温度の目安

ダイヤル	庫内温度
2~3	約5~7℃
4	約4℃
5~6	約0~3℃

表の温度は、周囲温度30℃、食品を入れずにドアを閉じ温度が安定したとき、庫内ほぼ中央下寄り測定した値です。なお、ドアの開閉、周囲温度、食品の量、入れ具合などにより変わります。

ダイヤル	使い方
切	● 運転を止めたいとき
1~3	● 冬、春秋の気温の低いとき
4	● 夏、ご使用になるとき
5~6	● 貯蔵する食品が特に多いとき ● 特に気温の高いとき
7~8	● 特に強い冷却力が必要なとき ● 速く氷をつくりたいとき

⚠ 注意

- 製氷コーナー内の食品や容器 (特に金属製のもの) にはぬれた手で触れない。凍傷の原因になります。
- 製氷コーナーにビン類を入れない。中身が凍って割れ、けがの原因になります。

- お願い**
- 温度調節ダイヤルの目盛を“1”以下にしておきますと、氷ができないことがあります。
 - ダイヤルの目盛を“7~8”に合わせた時は強力に冷えますので、長く運転しますと庫内は冷えすぎます。ご用が済みましたら元の目盛に戻してください。
 - ダイヤルは“切”から“8”へは回りません。
 - 電源プラグをコンセントから抜いたときは、次に電源を入れるまで5分以上間をおいてください。すぐに電源を入れますと、冷凍機の故障の原因になります。
 - 冷蔵室内の食品が凍るときは、温度調節ダイヤルを“1”側に回してください。

使いはじめ
ご使用方法

霜取りのしかた

■この冷蔵庫は自動霜取り式ではありませんので、冷却器に霜が**5mm程度**つきましたら、必ず霜取りをしてください。
多量の霜がつきますと冷却力が低下し、電気代が余計にかかります。

霜取りの方法

- 1 製氷皿を取り出します。
- 2 とけた霜取り水が必ず露受皿に入るように、露受皿の位置を合わせます。
- 3 温度調節ダイヤルを“切”に合わせます。



警告

●霜をとるのに冷却器に水やお湯をかけない
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

注意

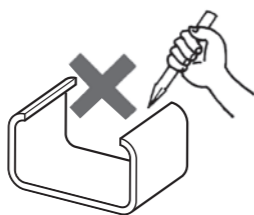
●霜が多量についてから霜取りをしますと、とけた水を全て露受皿で受けきれず、あふれて床をぬらしてしまいます。露受皿の水位をときどき確認し、あふれる前に水をすててください。万一、霜が多量についた場合は、床にタオルをしいて数回露受皿でとけた水をすててください。

- 4 冷却器の霜がとけて無くなった後、やわらかい乾いた布で、冷却器についている水分をふきとります。次に、露受皿にたまった水をすて、露受皿と庫内についている水滴をふきとってから、露受皿をもとの位置にもどします。
- 5 温度調節ダイヤルをもとの位置にもどします。再び冷却運転に入ります。

- ヒーター等による強制霜取り方式ではありませんので、特に冬など冷蔵庫の周囲温度が低いときは、霜がとけるのに長時間かかります。
- 冷蔵庫内に食品が入っている場合は、霜取り中できるだけドアを開けないで庫内の食品の温度が上がらないようにしましょう。一方、庫内に食品が入っていない場合は、ドアを開放して庫内を早く暖めると、霜取りが早まります。

お願い

●冷却器についた霜をとるのに、ナイフやドライバー等は絶対に使わないでください。冷却器に傷がつき、故障の原因になります。この場合の修理は、無償修理の期間中でも、有料となります。



- 長期間留守にするとき、または、お使いにならないときは、冷蔵庫の電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、霜がたくさんついている場合は、霜がとけて露受皿から水があふれるおそれがありますので、ご注意ください。
- 温度調節ダイヤルを“切”にした後、ダイヤルをもともにもどす場合は、5分以上間をおいてください。

お手入れのしかた

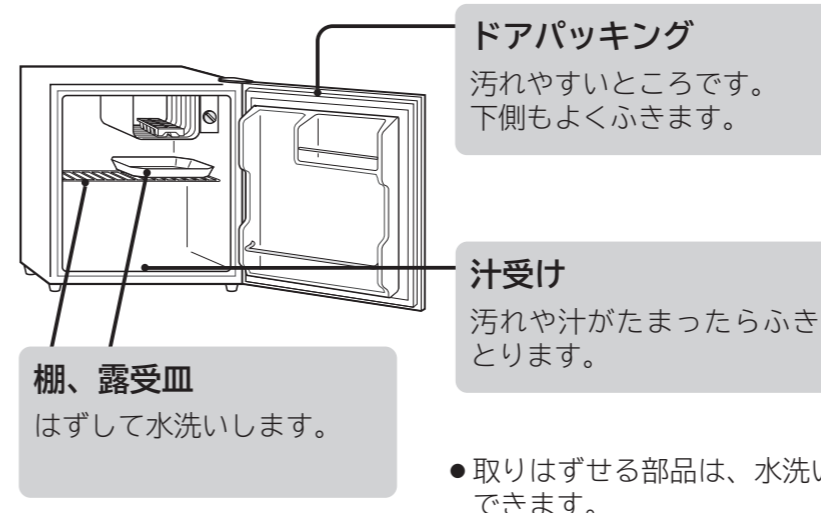
■月に1回は、お手入れを。

お手入れの方法

- 1 電源プラグを必ず抜きます。
- 2 布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてふきます。
- 3 中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
- 4 お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
- 5 棚、露受皿が正しく取り付けられていることを確認します。
- 6 電源プラグを、コンセントにしっかり差し込みます。

お手入れのしかた (つづき)

お手入れのポイント



警告

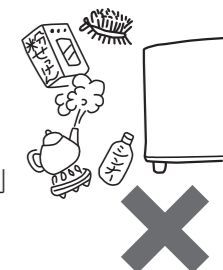
- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く またぬれた手で抜き差ししない 感電することがあります。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたリコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・火災の原因になります。
- 水をかけない 電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

注意

- 冷蔵庫の底面に手を入れない
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。
- 冷蔵庫の背面の機械部に手を入れたり圧縮機にふれない
高温ですので、やけどやけがの原因になります。
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

お願い

- 食用油および、かんきつ類の皮に含まれる汁が付いた場合はふき取ってください。プラスチックが変色したり割れることがあります。
- 食品などの汁や殺虫剤がドア表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色したり、さびが発生することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 次のようなものは使わないでください。塗装面や部品を傷めます。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。
特にアルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤はプラスチックの表面を黄変させたり、プラスチックが割れることがあります。



お困りのときは

次のことをお調べください

全く冷えないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？
- 温度調節ダイヤルが“切”になっていませんか？

庫内の食品が凍結するとき

- 温度調節が適正になっていませんか？
- 周囲の温度が5℃以下になっていませんか？

床面や庫内に水がたまるとき

- 露受皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが半開きになっていませんか？

音がうるさいとき

- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 冷蔵庫が壁などに触れていませんか？
- 冷蔵庫の周囲に容器などが落ちていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音などがする

これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、きしみ音のすることがありますが、これは冷却器の周辺材料が収縮・膨張をするために発生する音です。



お困りのときは (つづき)

よく冷えないとき

- 温度調節が適正になっていますか？
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？

庫内のおいが気になるとき

- においの強い食品を、ラップしないで入れていませんか？
- 乾燥しやすい食品やにおいの強い食品、使いかけのかんきつ類等を収納する場合は、ラップや密閉容器を利用して収納してください。乾燥やにおい移りを防ぐことができます。特にかんきつ類は精油成分により、プラスチック等が変質しますので注意してください。

ドアを開めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる

庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

外側に露が付く

周囲の湿度が高いとき、外側に露の付くことがあります。これはコップに冷たい水を注いだときまわりに水滴が付くのと同じです。乾いた布でふき取ってください。

冷蔵庫の上面や側面が熱く感じる

露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているため、食品の貯蔵には影響ありません。

■ 以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときには …

■ 停電したときは

- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。

■ 長時間使わないときは

- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、2~3日ドアを開けて乾燥させてください。

■ 塗装面に傷がついたときは

放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。

《簡単な処置方法》

- 小さな傷は、シールをはる。
 - 大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。
- (さびは、紙やすりで落してから)



保証とアフターサービス/お客様ご相談窓口

(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、食品の補償など、商品修理以外の責はご容赦ください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。(ただし、冷凍サイクルは、5年間です。) なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはTEL0120-3121-68にお問い合わせください。

修理を依頼される時は(出張修理)

9,10ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけないでいただくときは、下のことをお知らせください。

品名	日立冷蔵庫
型式	R-5ZP (冷蔵室ドア内側の銘板に記載されている型式をお知らせください。)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	() -
訪問希望日	

※型式は保証書にも記載されています。

■ 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料
などで構成されています。

技術料 診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

出張料 商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)・9:00~17:30(日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)・9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただきます。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただきます。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただきます。